

KATO Reborn Project について

2021年8月6日
株式会社 加藤製作所



当社は、2019年に策定いたしました「中期経営計画2019-2021 —Progress To The Next Stage— 次なるステージに進化」において、総合建機メーカーを目指し、様々な取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、近年におきましては、国内の建設機械投資の需要の伸びが計画策定時の想定ほど期待できず、海外ではグローバルでの競争は厳しさを増しております。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う低迷による売上減少も重なり、取り組みの効果を実現することが出来ず、2期連続の赤字となっております。当社におきましては、事業の拡大を優先し、収益性や資金効率性を高める施策を併せて進めてこなかったことが業績悪化を招いた一因であると認識しています。

このような状況の中、事業環境に合わせた方針を策定し、早期に業績改善を行い、将来に向けた再成長を実現していくために、2021年4月に「KATO Reborn Project（以下、KRP）」を立ち上げました。

KRPでは、上記の反省を踏まえ役員・従業員が一体となり、2021年度での効果発現を目指す短期施策、中長期での効果発現を目指す施策を検討し、既に一部施策の実行を着手しております。徹底した製品コストの削減、競争力があり収益性の高い新製品開発の加速等の施策を実行することにより、営業黒字への回復そして更なる成長は達成可能であると考えております。

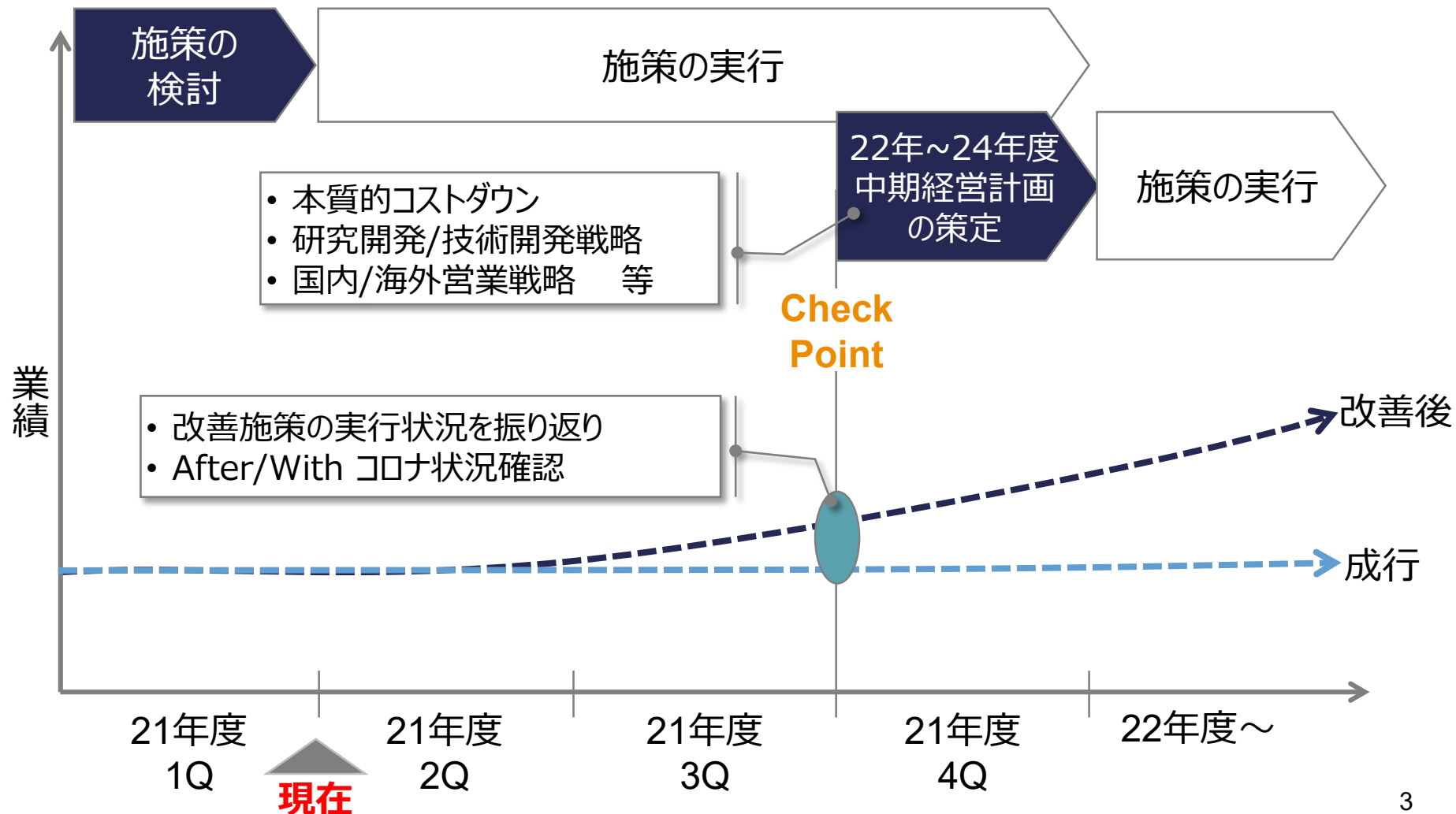
当プロジェクト内にて精査しておりました2022年3月期の業績予想発表に合わせ、現時点でのプロジェクトの進捗につきましてご報告いたします。足元では依然厳しい業績となっておりますが、今は経営基盤の強化と構造改革の手を緩めることなく、厳しい事業環境下においても安定した収益を残すことができる企業に再生（Reborn）できるよう全力をあげて取り組んでおります。

関係各位に於かれましては何卒、ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社 加藤製作所
代表取締役社長 加藤 公康

KATO Reborn Project 全体スケジュール

- ✓ 今年度中は事業の正常化に向け、足掛かりとなる施策改善効果の実現を目指す
今期末までに成長戦略や中長期的な改善施策を盛り込んだ新中期経営計画を公表予定



KATO Reborn Project 重点テーマと今後の方向性

- 短期的には収益性改善と資金効率改善を重点的に取り組む
- 重点テーマに則した各施策を着実に実施することで、安定した経営基盤と収益力を高める

方針	重点テーマ	今後の方向性	効果発現時期	
			短期※	中長期
収益性改善	製品ポートフォリオの見直しによる収益の最大化	重点顧客・重点販売製品の設定	○	
		顧客ニーズと収益性を意識した開発ロードマップへ見直し		○
	開発資源の集中による製品開発の加速	当社の強みのある分野に集中		○
		開発優先順位付けと開発資源の再分配		○
	グローバル戦略の見直し及びサプライチェーンの再構築	開発ロードマップに則した海外販売戦略の見直し		○
		生産拠点移管による生産性の改善	○	
	抜本的なコスト構造の見直し	仕入れ先との交渉による材料費の削減	○	
		調達方法見直しによる外注費の削減	○	
		生産の平準化による製造原価の削減	○	
	アフターマーケットへの更なる注力	アフターサービスの充足による顧客満足度の向上	○	
消耗部品等の追加購入ニーズの取り込み		○		
資金効率改善	在庫・売上債権管理の厳格化による運転資本改善	生産・販売間での情報連携強化による在庫圧縮	○	
		売上債権管理の厳格化	○	
	構造改革によるCF改善	遊休不動産の売却	○	

※今期（2022年3月期）においては約5億円の施策効果を見込む